



あさひ台

学 校 報
第 4 9 1 号
R 4 . 1 . 2 8
五 城 目 小 学 校

学校教育目標 夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～



五小っ子の学習状況について

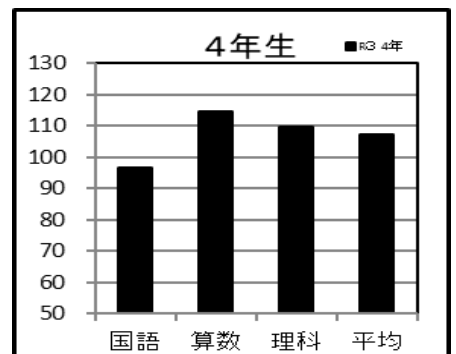
研究主任 湊 優子

昨年 12 月 1 日に実施した秋田県学習状況調査や、3 年生以上で実施した学習・生活アンケート調査から、五小っ子の様子についてご報告いたします。

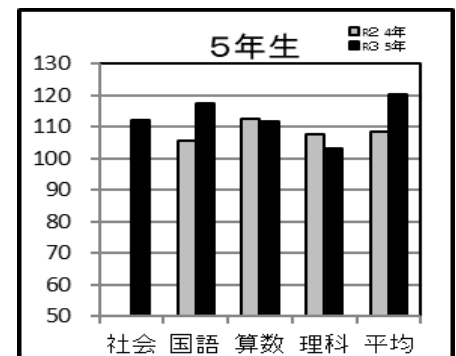
【本校児童の正答率(県平均正答率：100)】

1 「教科についての調査」の結果について

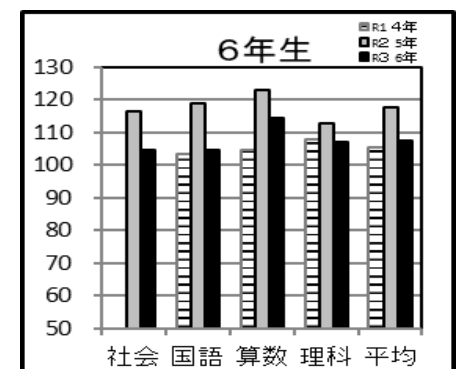
右のグラフは、五小っ子の学力が県と比較してどのような状態にあるかを把握するために、「県の平均正答率を 100 とした場合の本校の子どもたちの学年別・教科別の平均正答率」を表したものです。また、5・6 年生については、4 年生や 5 年生のときと比べて学力がどのように変化してきたかを見ることもできます。



ご覧の通り、4 年生は算数科と理科、5・6 年生は全教科で県平均を上回るという良好な結果でした。



設問別では、国語科では、「作文（条件に合わせて、書き表し方を工夫する）」の設問、算数科では、「わり算の筆算」「小数の計算」「分数のわり算」など計算に関する設問が、県平均を上回りました。昨年度、課題として挙げられていた「複数の資料を関連付ける」設問については、改善が見られました。一方、国語の「長文読解」に関する設問や、算数科・社会科・理科では、「問題場面を正しく把握し、基礎・基本の事項を活用して問題を解決する」設問において課題が見られました。



五小っ子たちは、学習に対して真面目に、意欲的に取り組んでいます。今回の学習状況調査に向けても、「自分が得意なところや苦手なところ」など一人一人が自分自身の学習の状況を把握し、自分に合わせた学習に一生懸命取り組んでいました。分からない問題の解き方を友達に聞いたり、家庭学習で復習に取り組んだりしている姿がたくさん見られました。毎日しっかりと見届け、温かく励ましてくださっている保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

今後、課題として挙げられている点について真摯に受け止め、学力の向上を目指して学校全体で一層努力していきたいと思ひます。

2 「学習・生活アンケート調査」の結果から

調査結果から、自分を肯定的に捉え、学習に前向きに取り組もうとする五小っ子たちの姿がうかがえます。この意欲は、学校生活だけで高めることはできません。子どもたちの生活の基盤である温かい家庭、そして広い学びの場である地域の協力があってこそ育まれるものです。

今後も学校、家庭、地域がともに手を携えて五小っ子のさらなる学力向上を目指していきたいと思ひます。

【調査に対し、児童が肯定的に回答した割合】

- 勉強が好き (88%)
- 勉強は大切 (99%)
- 学校の勉強がよく分かる (97%)
- 学校が楽しい (94%)
- 自分にはよいところがある (91%)
- 将来の夢や目標をもっている (92%)
- 人の役に立つ人間になりたい (92%)